

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	

同お問い合わせ先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
公告方法	日本経済新聞

株式に関するお手続き

単元未満株式の買増・買取、住所変更などの各種お手続きについて
原則として、株主さまが口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)において承ることとなっております。当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

単元未満株式の買増・買取制度について

当社は、1単元(100株)未満の株式をご所有の株主さまに対し、ご所有の単元未満株式とあわせて1単元となる数の株式を当社からご購入いただく「単元未満株式買増制度」、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく「単元未満株式買取制度」を実施しております。

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて

当社株主名簿管理人である、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

特別口座について

証券会社等の口座に入庫されていない株券につきましては、当社が開設した「特別口座」において管理されています。「特別口座」では譲与・譲渡のお手続きができませんので、売買するには証券会社に同一名義の口座を開設し、株式振替を行うお手続きが必要となります。

未受領の配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店においてお取り扱いいたします。

ホームページでもIR情報を公開しています

幅広いIR関連情報を、当社ホームページの「株主・投資家の皆様へ」で公開しています。決算短信や有価証券報告書などの適時開示資料をはじめ、決算説明会資料や統合報告書などを掲載しています。

また当社では、株主さまからのご意見・ご要望もお受けしています。ご意見・ご要望がございましたら、電話やハガキ、またはeメール(ir@alfresa.com)でお気軽にお寄せください。当報告書に関するご意見もお待ちしております。

<https://www.alfresa.com/ir/>



「アルフレッサグループ
統合報告書 2023」

アルフレッサ ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号 大手センタービル23階
TEL:03-5219-5102 FAX:03-5219-5103



alfresa

アルフレッサ ホールディングス株式会社



株主のみなさまへ

2024年3月期 報告書

(2023年4月～2024年3月)

証券コード 2784

Fresh life for all.

すべての人に、いきいきとした生活を。

alfresagroup



株主の皆様には、平素より格別のご支援とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

各地で災害が頻発する中、2024年1月には「令和6年能登半島地震」が発生しました。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復旧ならびに復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社グループの2024年3月期の連結業績は、売上高2兆8,585億円(前期比6.0%増)、営業利益384億60百万円(同27.6%増)、経常利益399億97百万円(同21.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益295億58百万円(同14.6%増)となりました。配当は普通配当金60円に設立20周年記念配当金10円を上乗せした年間配当金70円としました。

2023年5月に、事業戦略および財務・資本戦略を柱とした「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を発表し、2033年3月期までの企業価値向上に向けた施策の方向性をお示しました。また、今期は「22-24 中期経営計画 未来への躍進～進化するヘルスケアコンソーシアム®～」が最終年度を迎えるため、目標達成に向けて一層取り組んでまいります。

事業戦略において成長事業の一つと位置づけている医薬品等製造受託では、アルフレッサ ファーマ(株)の製造拠点の

一つである群馬工場に156億円の設備投資を予定し、新たな医薬品製造棟を建設します。これにより、低分子医薬品の製造能力の増強や、新たに高薬理活性製剤の受託製造、および無菌製剤の検査・包装・試験受託への本格参入を図ります。また、再生医療関連事業でも、国内セルソースの調達から医療機関納入まで一括運用できる再生医療サプライチェーンの構築を目指し、グローバルプレイヤーとの協力関係を築き、再生医療産業の育成に貢献してまいります。財務・資本戦略では、財務基盤の安定性、資本収益性の向上、株主還元の充実に引き続き取り組んでまいります。

2024年4月、当社のグループ医療卸事業統括部に「グループ医薬卸ソリューション推進担当」を設置する機構改革を実施し、同時に医療用医薬品卸会社においてはソリューションを担う組織を新設しました。これにより、グループ一体となってお得意様、製薬企業等の医療DXの支援に向けた取り組みを加速させてまいります。

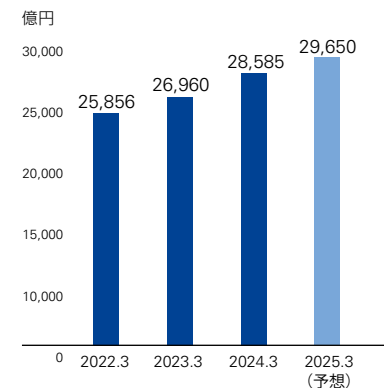
今後もトータルサプライチェーンサービスの強化・拡大を進めることで、健康寿命の延伸、地域医療への貢献、およびヘルスケア・イノベーションなどの社会価値創造と企業価値の向上にまい進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

荒川隆昭

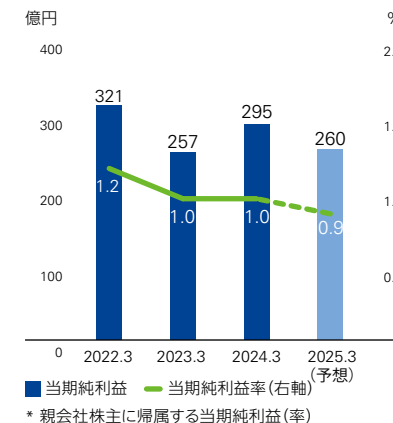
売上高



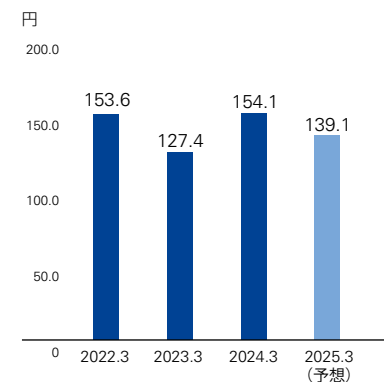
営業利益・営業利益率



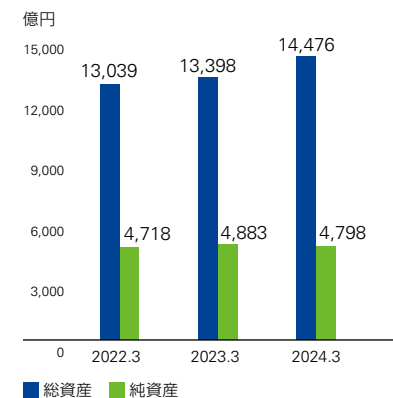
当期純利益・当期純利益率*



1株当たり当期純利益 (EPS)



総資産・純資産



ROE (自己資本当期純利益率)



「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれています。様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

事業別業績

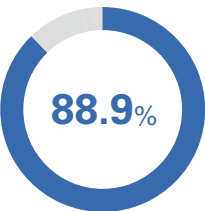
(注) 医療用医薬品等卸売事業、セルフメディケーション卸売事業、および医薬品等製造事業には内部売上を含む

連結売上高 **2兆8,585億円** (前期比6.0%増)

連結営業利益 **384億円** (前期比27.6%増)

医療用医薬品等 卸売事業

売上高構成比率



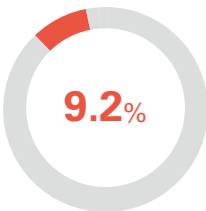
売上高
2兆5,399億円
(前期比6.0%増 ▲)

営業利益
330億円
(前期比22.7%増 ▲)

薬価の中間年改定によるマイナス影響はあったものの、市場が大幅に伸びたことに加え、一部製薬企業の流通体制変更の影響や売上総利益率の改善などにより、増収増益となりました。

セルフメディケーション 卸売事業

売上高構成比率



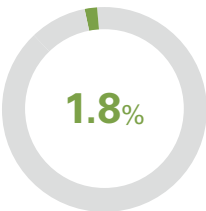
売上高
2,628億円
(前期比6.6%増 ▲)

営業利益
26億円
(前期比27.1%増 ▲)

新型コロナウイルス感染症の5類移行後の人流回復に加えて、インバウンド需要増に伴う市場回復の影響などから増収増益となりました。

医薬品等 製造事業

売上高構成比率



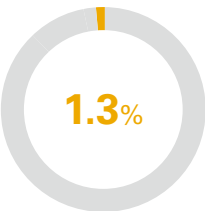
売上高
527億円
(前期比7.5%増 ▲)

営業利益
18億円
(前期比349.9%増 ▲)

ALS治療薬開発に係る契約一時金の支払いなどの経費増加の一方で、受託製造および原薬製造の売上伸長に加え、診断薬の増収の影響により、増収大幅増益となりました。

医療 関連事業

売上高構成比率



売上高
366億円
(前期比1.2%増 ▲)

営業利益
7億円
(前期比115.6%増 ▲)

新型コロナウイルス感染症治療薬などのプラス影響、および経費の抑制により増収増益となりました。

再生医療におけるトータルサプライチェーンサービスの実現に向けた取り組み

当社グループでは、バイオ医薬品や再生医療等製品といった新たなモダリティの増加に伴い、各事業セグメントが持つ強みを基に、サプライチェーンを活用したバイオ医薬品および再生医療等製品におけるトータルサプライチェーンサービスの構築を目指しています。

再生医療等製品の中間製品(マスターセル)の提供事業と自家*1・他家*2型の細胞加工物の製造事業を担うセルリノーズ(株)は、2023年7月に遺伝子細胞治療市場における全自動細胞

製造システムの世界的トップランナーであるミルテニーバイオテック社とバイオインダストリー・サポート契約を締結しました。これにより、高度に自動化された受託細胞製造サービスを提供する事業基盤の整備を進めるとともに、細胞自動製造システムを中心とする細胞加工「工場」の設置により、高効率で高品質な再生医療等製品の受託製造サービスをより安価に提供する体制の構築を進めています。

細胞の採取・生産・輸送・投与の情報統合管理プラットフォーム



<セルリノーズ(株)>

- ・テラファーマ(株)の再生医療等製品の製造事業を譲受(2023年1月)
- ・郡山 Cell Processing Center 竣工(2023年1月)
- ・ミルテニーバイオテック社とバイオインダストリー・サポート契約を締結(2023年8月)
- ・Probio Technology HK Limitedと日本の遺伝子・細胞治療市場における包括的CDMOサービスに関する契約を締結(2024年3月)

・再生医療流通ステーション

- 殿町<神奈川県川崎市川崎区>(2018年8月)
- 神戸<兵庫県神戸市中央区>(2020年10月)
- ・再生医療等製品保管庫
- 全国の物流センター9カ所(2021年1月)

・[ヒト乳歯歯髄幹細胞(SHED*)]にも対応した

- 高品質かつ安定的な保管・輸送体制の構築(2023年5月)
- ・臍帯の調達から、臍帯由来間葉系細胞の製品化に向けた調達・培養・輸配送・販売に至るまでのサプライチェーンの構築(2020年4月)

* Stem cells from Human Exfoliated Deciduous teeth(ヒト乳歯歯髄幹細胞): 乳歯内部の歯髄組織から採れる幹細胞で、骨や神経などに分化する能力を有する。ドナーが若く細胞年齢も若いため、他の組織由来の幹細胞と比較して増殖能が高い。また、各種成長因子(特に神経栄養因子)の分泌能が高い。(注) 年月は発表時期

また、2023年11月には、生物製剤CDMO事業を行うProbio Technology HK Limitedと日本の遺伝子・細胞治療領域におけるGMP*3に準拠した包括的なCDMOサービス*4の展開を進めるコラボレーション契約を締結しました。これにより、一連の遺伝子ベクターを活用した再生医療等製品の開発から治験薬および最終的な商用製品の製造までを包括的なサービスとしてお客様へ提供する体制を構築することができます。

国内セルソースの調達から医療機関納入までを一括運用し、製薬企業、医薬品研究開発のベンチャー企業およびアカデミアに対して、研究開発コストの削減や医薬品の上市までの期間短縮に寄与します。

*1 患者本人の細胞 *2 健康な細胞提供者から採取した細胞

*3 GMP(Good Manufacturing Practice): 医薬品および医薬部外品の製造管理および品質管理の基準

*4 CDMO(Contract Development and Manufacturing Organization)サービス: 医薬品の製造工程の開発から、治験薬や商用製造までを受託するサービス

低分子医薬品や高薬理活性製剤における トータルサプライチェーンサービスの強化と拡大

当社グループは、医療用医薬品等卸売事業において、グループ全体での最適化・効率化・標準化を進めています。

その一環として、アルフレッサ(株)が茨城県つくば市に「つくば物流センター」、ティーエスアルフレッサ(株)が山口県宇部市に「山口宇部センター」を新設し、2024年5月にそれぞれ稼働しました。両センターともに、厳格な温度管理等が求められるGDPガイドライン*1に準拠した管理体制を構築しています。また、高い出荷精度により対面検品を不要とした「パッケージ納品」*2による医薬品配送にも対応しています。加えて、災害時の事業継続や環境への配慮にも取り組み、持続可能な物流拠点となっています。

これらの物流センターの稼働により、関東エリアや中国エリアにおける医薬品等を安定供給する体制をさらに充実させ、引き続き地域医療へ貢献していきます。

*1 GDP(Good Distribution Practices)ガイドライン:2018年12月に厚生労働省より示された、医薬品の流通過程における品質保証を目的とした基本的な指針

*2 パッケージ納品:99.999%以上の高い精度で出庫された医薬品を専用のオリコンに梱包し、お客様へお届けするまでオリコン内の医薬品に誰も触れることのない納品システム



つくば物流センター外観



山口宇部センター外観

また、「アルフレッサグループ中長期ビジョン」において、医薬品等製造受託を成長事業へ位置づけています。

2024年1月、アルフレッサ ファーマ(株)群馬工場における新たな医薬品製造棟建設について、詳細設計が完了したことを発表しました。同製造棟の建設により、低分子医薬品の製造能力の増強や、高薬理活性製剤の受託製造、無菌製剤の検査・包装・試験受託への本格参入を図るとともに、トータルサプライチェーンサービスにおける開発から製造までの機能の強化と拡大へつなげます。



群馬工場における新たな医薬品製造棟の完成イメージ

なお、「つくば物流センター」および群馬工場における新たな医薬品製造棟の建設・運営は、2023年11月に発表したソーシャルボンド・フレームワークで定めた適格プロジェクトに係る新規投資の対象であり、本社債の発行により調達した資金が充当されます。

デジタルツールを活用した「つなぐ活動」でサステナブルな社会へ

当社グループでは、予約から問診、診療、決済、医薬品の配送手続きまでをオンラインで完結させ、患者様の個人宅へ医薬品をお届けする仕組みや、医療機関の経営効率化や医療従事者の働き方改革、医師同士をつなぐコミュニケーションツール、製薬企業のMRへ貢献する仕組みなど、ヘルステックなどのデジタルツールの活用で医療における課題解決を図っています。

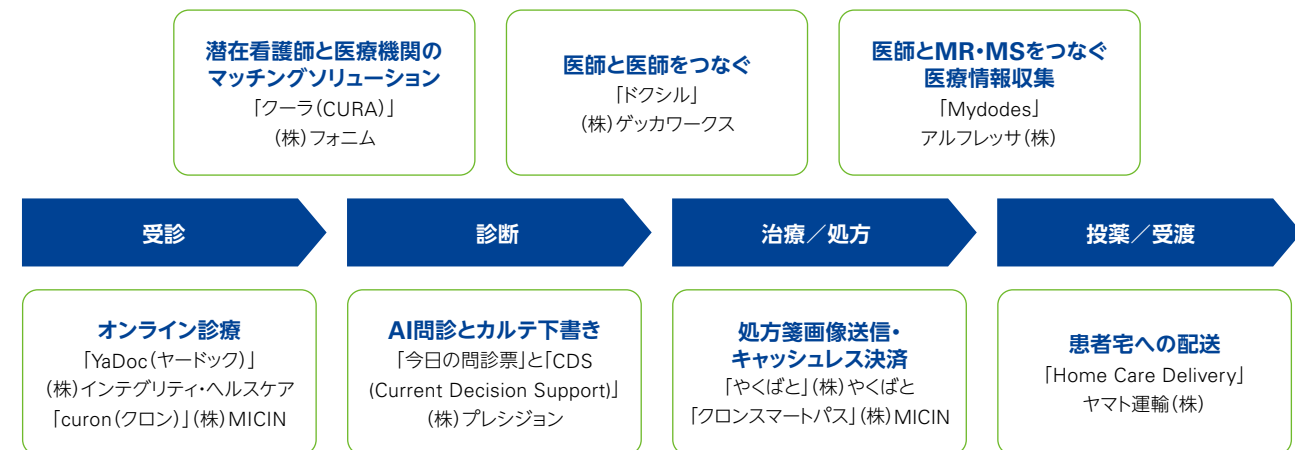
2023年11月に、(株)ゲッカワークスが医師向け会員制Webサービス「ドクシル」の本格運用を開始いたしました。また2024年1月には、アルフレッサ(株)が医療機関における看護師などの人手不足解消につなげるため、潜在看護師などの医療従事者と医療機関をマッチングするための採用DXソリューション「クーラ(CURA)」を提供するスタートアップ企業である(株)フォニムと代理店契約を締結しました。

こうした取り組みを加速させるべく、2025年3月期より、アルフレッサ ホールディングス(株)のグループ医療卸事業統括部に「グループ医薬卸ソリューション推進担当」を設置するとともに、医療用医薬品卸会社6社*においてはソリューションを担う組織を新設しました。当社のグループ医療卸事業統括部を中心に、医療用医薬品卸売事業が一体となってお得意様や製薬企業などのDXを支援していきます。

* アルフレッサ(株)、四国アルフレッサ(株)、ティーエスアルフレッサ(株)、明祥(株)、(株)琉薬、東北アルフレッサ(株)の6社

アルフレッサグループのソリューション

問診や診療から患者宅への医薬品配送まで、デジタルツールを活用し、医療における課題を解決



事業活動を通じた地域医療への貢献とダイバーシティを中心とした人財戦略の推進

災害時における医療提供活動を支援

2023年12月、アルフレッサ(株)は静岡県藤枝市と「災害支援コンテナファーマシーの運用等に関する協定」を締結しました。同市において災害が発生した際、同社「静岡物流センター」の敷地内に保管しているコンテナファーマシー*を救護所等に派遣・設置し、災害時における医療提供活動を支援します。

* 貨物用コンテナを改造し調剤設備等を搭載しています。トラップで牽引[することで移動が可能で、必要とされている医薬品等を災害現場へ輸送することができます。また、派遣先でライフラインが復旧した場合には電源コンセント、水道と接続することで建物として長期にわたり支援活動を行うことができます。



コンテナファーマシー外観

ダイバーシティ推進に向けた取り組み

当社グループは、「アルフレッサグループ ダイバーシティ方針」に基づき、女性の積極的な採用や登用、障がい者の雇用に取り組み、個人の能力を最大限に発揮できる環境整備を行っています。

2024年1月にエーエル プラス(株)が、同年2月にアルフレッサ(株)が、子育てサポート企業として、厚生労働大臣より「えるぼし認定」を取得しました。アルフレッサ ファーマ(株)とアルフレッサ メディカルサービス(株)に続く取得となります。また、(株)琉薬は、障がい者の雇用の促進および雇用の安定に関する取り組みなどが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する「もにす認定制度」の認定企業となりました。

離島・へき地における持続可能な医薬品等の配送実現

2024年2月、ティーエスアルフレッサ(株)は、国家資格であるドローンの講習事業を全国で展開する日本ドローン機構(株)と「ひろしまドローン活用推進協議会」を設立しました。同協議会では広島県廿日市市をオブザーバーとして受け入れ、ドローンを活用した医薬品等配送の実装に向けた準備を進めています。離島やへき地における医薬品等の物流課題を解決し持続可能な医療の提供に貢献することを目指し、廿日市市内の離島やへき地へのドローンを活用した医薬品等配送の実証実験を行い、医薬品等の運搬に関する品質と安全性を確保するための検証を行っています。



左から、(株)MAX工業 事業推進部長 宮原 琉至様、ティーエスアルフレッサ(株) 代表取締役社長 高橋卓詩

加えて、当社グループでは働きやすい環境と健康増進を目的として社員の健康確保・増進、組織の活性化および生産性の維持・向上に向けた取り組みも進めており、「健康経営優良法人2024」の認定を当社グループ13社が取得しています。



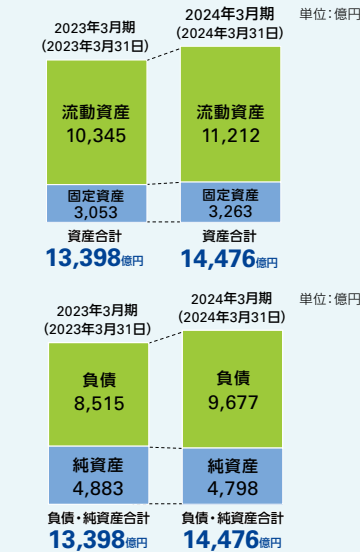
アルフレッサ(株)とエーエル プラス(株)が認定を取得した「えるぼしマーク」



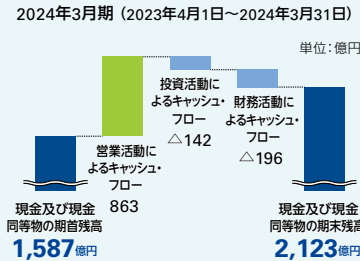
(株)琉薬が認定を取得した「もにすマーク」

連結財務諸表(概要)

連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー計算書



連結損益計算書および業績予想

科目	2023年3月期 (2022年4月1日～2023年3月31日)	2024年3月期 (2023年4月1日～2024年3月31日)	増減額	2025年3月期予想
売上高	26,960	28,585	1,624	29,650
売上総利益	1,920	2,063	142	2,141
営業利益	301	384	83	373
経常利益	328	399	71	400
当期純利益*	257	295	37	260

* 親会社株主に帰属する当期純利益

POINT 資産			
資産は2023年3月期末と比較して、1,077億円の増加となりました。			
流動資産: +867億円		固定資産: +210億円	
現金及び預金	+536億円	有形固定資産	+47億円
受取手形・売掛金	+224億円	投資有価証券	+140億円
棚卸資産	+35億円		

POINT 負債・純資産			
負債は2023年3月期末と比較して、1,162億円の増加となりました。		純資産は2023年3月期末と比較して、84億円の減少となり、自己資本比率は33.1%となりました。	
流動負債: +812億円		純資産: △84億円	
支払手形及び買掛金	+749億円	利益剰余金	+178億円
固定負債: +349億円		その他有価証券評価差額金	+73億円
社債	+200億円	自己株式	△357億円
長期借入金	+100億円		

POINT キャッシュ・フロー計算書			
現金及び現金同等物は、2024年3月期において535億円の増加となりました。			
営業活動によるキャッシュ・フロー: 863億円の収入		財務活動によるキャッシュ・フロー: 196億円の支出	
税金等調整前当期純利益	+437億円	長期借入れによる収入	+100億円
売上債権の増加額	△191億円	社債の発行による収入	+200億円
仕入債務の増加額	+749億円	自己株式の取得による支出	△357億円
投資活動によるキャッシュ・フロー: 142億円の支出		配当金の支払額	△122億円
有形固定資産の取得による支出	△127億円		
投資有価証券の売却による収入	+69億円		

株式情報 (2024年3月31日現在)

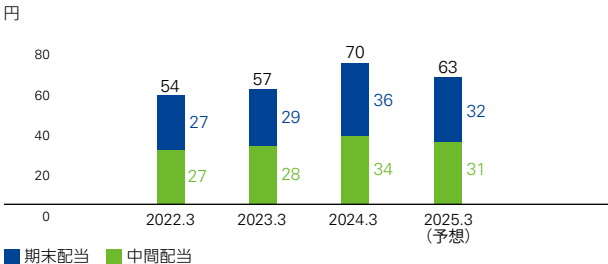
株式の状況

発行可能株式総数	540,000,000株
発行済株式総数	202,840,000株
株主数	16,202名

大株主

順位	氏名または名称	所有株式数 (千株)	議決権比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	28,913	15.5
2	アルフレッサ ホールディングス株式会社	15,521	—
3	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	9,522	5.1
4	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	8,417	4.5
5	アルフレッサ ホールディングス社員持株会	5,623	3.0
6	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	4,418	2.4
7	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT	4,018	2.1
8	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 第一三共口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,908	2.1
9	BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC	3,068	1.6
10	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	2,780	1.5

1株当たり配当金



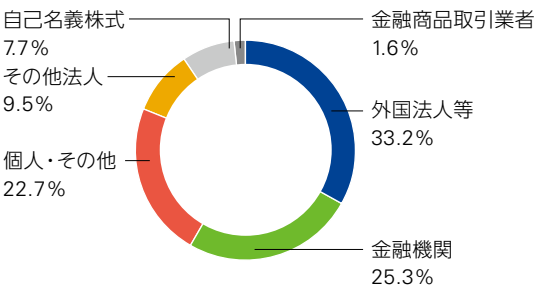
配当について

2024年3月期の配当金は、連結純資産配当率(DOE)2.4%以上の基本方針のもと、中間配当金34円および期末配当金を36円とし、年間配当金を70円といたしました。

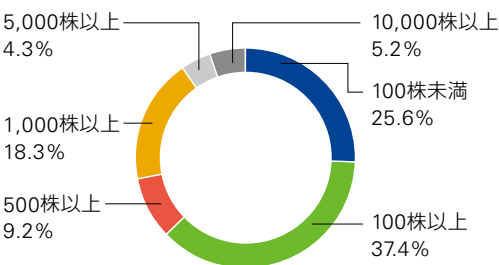
2025年3月期は中間配当金31円、期末配当金32円で年間配当金63円を予定しております。

(注) 2024年3月期における中間配当金および期末配当金には設立20周年記念配当がそれぞれ5円含まれております。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株主分布状況



会社概要 (2024年3月31日現在)

会社名	アルフレッサ ホールディングス株式会社 (Alfreda Holdings Corporation)
本社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目1番3号
従業員数	15,578名(連結) * パート・派遣社員数(3,061名)を含む
設立年月日	2003年9月29日
事業の内容	医薬品、医療用検査試薬、医療機器・用具の卸販売、製造販売、輸出入等ならびに調剤薬局の経営とこれらに附帯する事業を行う子会社の管理等
資本金	18,454百万円

グループ会社(連結)

医療用医薬品等卸売事業

- アルフレッサ株式会社
- 四国アルフレッサ株式会社
- ティーエスアルフレッサ株式会社
- 明祥株式会社
- 株式会社琉葉
- 東北アルフレッサ株式会社
- アルフレッサ メディカルサービス株式会社
- アルフレッサ篠原化学株式会社
- エーエル プラス株式会社

セルフメディケーション卸売事業

- アルフレッサ ヘルスケア株式会社

取締役および監査役 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長	荒川 隆治
代表取締役副社長	岸田 誠一
代表取締役副社長	福神 雄介
取締役常務執行役員	大橋 茂樹
取締役常務執行役員	田中 敏樹
取締役	勝木 尚
取締役	島田 浩一
取締役(社外取締役)	原 大
取締役(社外取締役)	木下 学
取締役(社外取締役)	竹内 淑恵
取締役(社外取締役)	國政 貴美子
常勤監査役	尾崎 正和
常勤監査役	上田 裕治
監査役(社外監査役)	加藤 善孝
監査役(社外監査役)	伊東 卓
監査役(社外監査役)	木崎 博

医薬品等製造事業

- アルフレッサ ファーマ株式会社
- 青島耐絲克医材有限公司
- アルフレッサ ファインケミカル株式会社

医療関連事業

- アポクリート株式会社

情報システムの運用・保守および開発事業

- アルフレッサ システム株式会社